

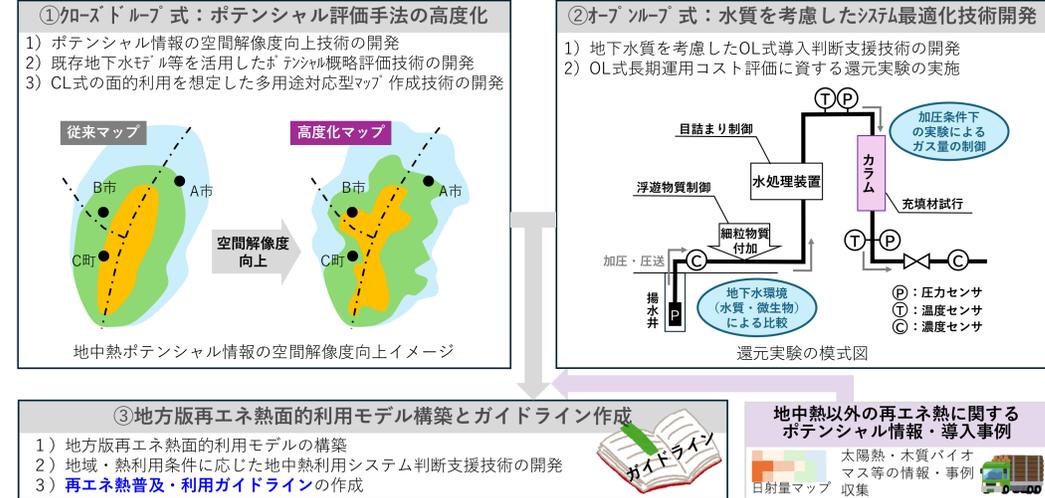
再生可能エネルギー熱の面的利用システム構築に向けた技術開発事業/再エネ熱利用システムに資する共通基盤技術開発 地方における再エネ熱面的利用促進に資する導入支援技術の開発

団体名: 国立研究開発法人産業技術総合研究所

事業の背景・課題・目的

- 背景: 我が国の脱炭素・エネルギー政策の実現のため、地域・地方に着眼した再エネ熱利用が必要
●課題: 熱需要密度が高い都市域・産業圏に比べると、地方では面的熱利用・再エネ熱導入は鈍重
●目的: 地方における再エネ熱導入・面的利用のためのツール(共通基盤技術)開発・仕組みづくり
●着眼点: 「いつでも・どこでも利用できる」という大きなメリットを有する地中熱を基幹的熱源とし、面的利用が有望な太陽熱・バイオマス熱等も考慮した「再エネ熱導入支援技術」を開発

事業の内容



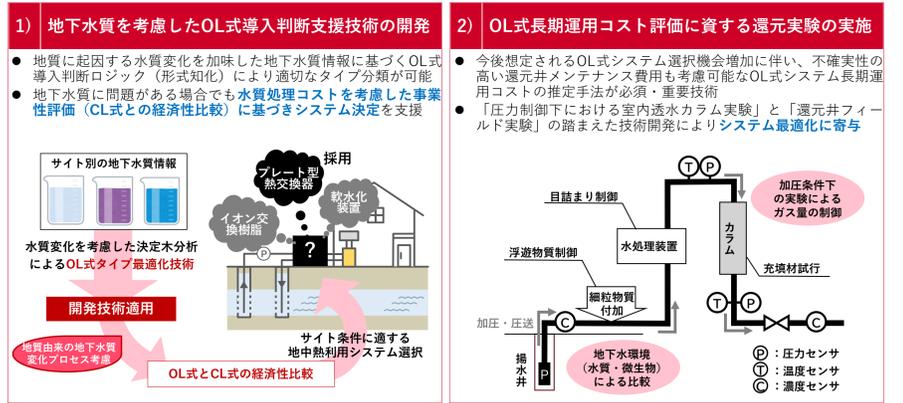
事業の目標

Table with 2 columns: Research Development Project and Target (Specific, Numerical, Setting Conditions). It lists goals for CL-type, OL-type, and local-scale model development.

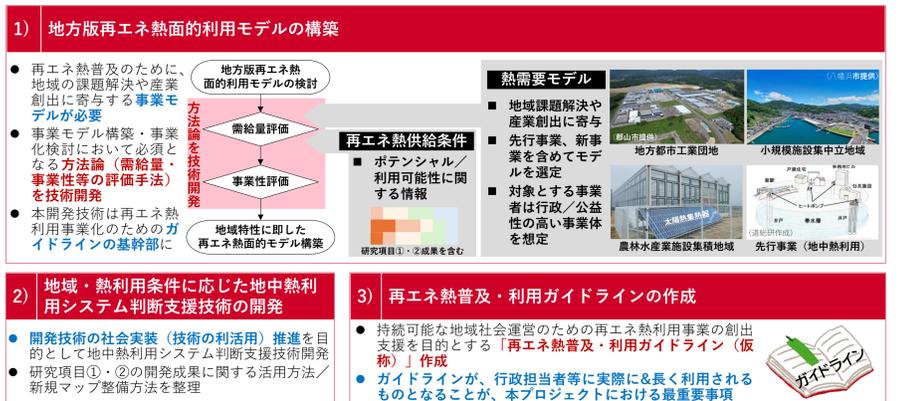
研究項目① クローズドループ式:ポテンシャル評価手法の高度化



研究項目② オープンループ式:水質を考慮したシステム最適化技術開発



研究項目③ 地方版再エネ熱面的利用モデル構築とガイドライン作成



研究項目① CL式:ポテンシャル評価手法の高度化

研究項目② OL式:水質を考慮したシステム最適化技術開発

研究項目③ 地方版再エネ熱面的利用モデル構築とガイドライン作成

2024年の主な成果

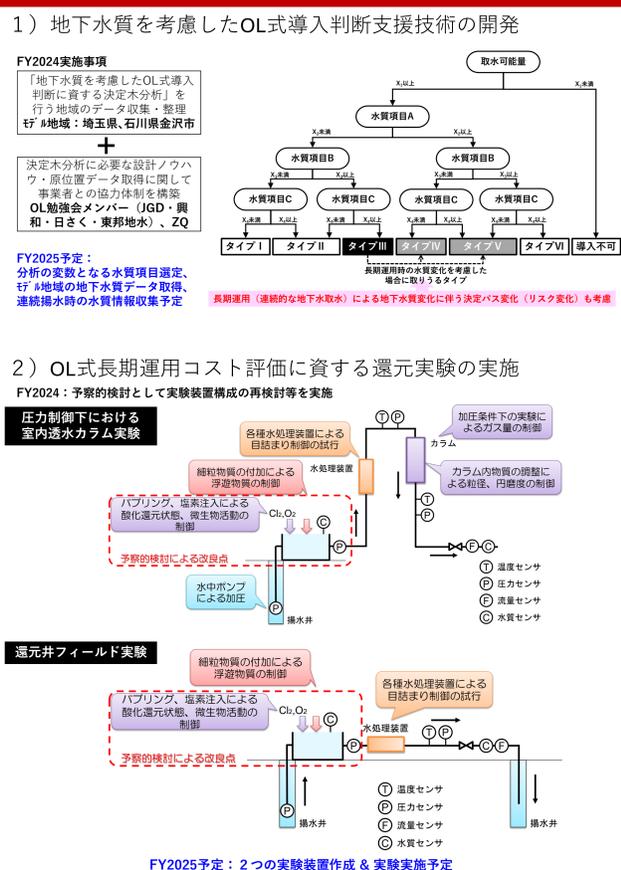
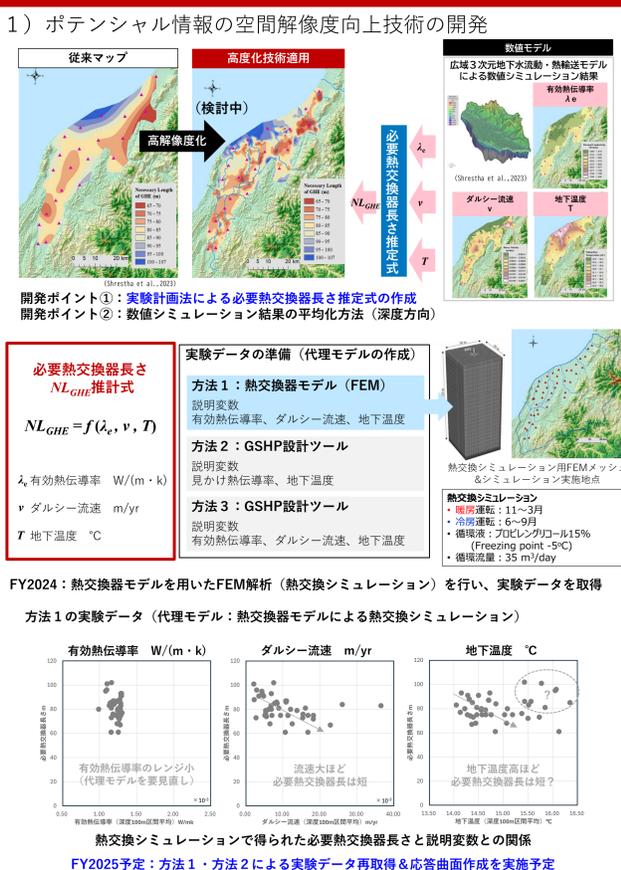


Table with 3 columns: Issue (課題), Future Strategy (今後の取組), and Utilization (実用化の見通し). It discusses challenges, future plans, and the expected impact of the technology.